

2024年度

(公財)愛知大学教育研究支援財団 奨励賞授与式

後援会奨励賞 同窓会奨励賞 クラブ愛知賞 資格試験合格者奨励賞

愛知大学 公務員試験合格者奨励賞授与式



日時 | 2025年3月8日(土) 11:00~12:30

場所 | 車道校舎 本館3階 コンベンションホール

プログラム

- | | |
|--|---|
| 一. 開式 | 一. 愛知大学公務員試験合格者奨励賞
試験結果報告
愛知大学 キャリア支援センター
委員長 吉川 剛
奨励賞授与 愛知大学 学長 広瀬裕樹 |
| 一. 挨拶 (公財)愛知大学教育研究支援財団 理事長 加藤満憲 | 一. 受賞者代表謝辞
公務員試験合格者奨励賞受賞者 代表
後援会奨励賞受賞者 代表
同窓会奨励賞受賞者 代表 |
| 一. 挨拶 愛知大学 学長 広瀬裕樹 | 一. 閉式 |
| 一. 後援会奨励賞
選考結果報告 愛知大学学生部 委員長 片岡邦好
奨励賞授与 愛知大学後援会 会長 武山卓史 | |
| 一. 同窓会奨励賞・資格試験合格者奨励賞
選考結果報告 愛知大学同窓会 広報委員長 小濱 恵
奨励賞授与 愛知大学同窓会 会長 八木好郎 | |
| 一. クラブ愛知賞
選考結果報告及び授与 クラブ愛知 副会長 荒川章三 | |



愛知大学
AICHI UNIVERSITY



公益財団法人 愛知大学
教育研究支援財団

● 最優秀賞

個人

柯 隆氏 | 平成4年法経学部卒

中国経済のコメンテーターの第一人者

推薦趣旨

柯隆氏は愛知大学卒業後、30年余り、長銀総合研究所、富士通総研経済研究所を経て、現在の東京財団研究所というシンクタンクで、政府や財界への政策提言を行っており、我が国では中国経済や日中関係のエコノミストとしての第一人者です。日中関係において、何か問題が起きると国内のマスコミ（テレビ局）から引っ張りだこ。毎月のように出演され大活躍をされています。他にも幾多の論文やレポートを書き、政策立案者に意見を提供されています。



久野 弥花氏 | 令和2年文学部卒

弓道日本代表選手 2024年第4回世界弓道大会 団体優勝

推薦趣旨

中学校時代から弓道を始め、高校時代はインターハイ団体優勝。全国選抜大会団体準優勝等を経験。愛知大学では弓道部に所属し、全日本王座決定戦優勝、団体近畿優勝等の好成績を残す。



● 優秀賞

個人

尾崎 元章氏 | 昭和61年法経学部卒

ネイティブアメリカンフルートで世界の音楽文化振興に貢献

推薦趣旨

尾崎元章氏（1986年 法経学部卒）は中学・高校では吹奏楽でファゴットを担当し、本学入学後、ドラマーとして「豊橋フォークソング研究会」でバンド活動を行う。卒業後上京し、プロのドラマーとして活躍しながらドラムスクールの経営も行う。ドラム関連の著作も20冊以上執筆し、多くのプロドラマーを輩出する都内でも有数のドラムスクールとなる。そして2010年、ネイティブアメリカンフルートの音色に魅せられ、それまでのドラマー・パーカッションの活動に加え、その奏法の研究を始める。2012年はアメリカに渡り、聖地であるアリゾナをめぐり多くの現地のプレイヤーとセッションを重ね、感性を磨いた。2014年に再び渡米し、ロサンゼルスにて師である Clint Goss 氏と共に活動し、12月にはファーストアルバム「いつもそこにあるもの」をリリースする。その後も Clint Goss 氏をはじめ多くのアメリカのネイティブアメリカンフルートプレイヤーと国内外で共演をし、ジャパンネイティブフルートアカデミーを立ち上げ、ネイティブアメリカンフルートの認知、啓蒙活動を行っている。グラントキャンオンや先住民の祭祀場での演奏がきっかけとなり日本の神社での奉納演奏も行っており、さらに音楽番組への出演や著名なアーティストとの国内外での共演も行っている。現在では日本におけるネイティブアメリカンフルートの第一人者として認識されることとなった。これら日本のミュージックシーンをけん引する才能を世に輩出した実績や世界と日本を音楽文化でつなぐ実績は世界規模での貢献活動であり、本学の名を世に広め、本学の音楽での文化活動をより高い位置に引き上げる功績でもある。そして愛大音楽サークル出身者の道しるべともなるこの実績は奨励賞に値する高い功績なので今回推薦いたします。



宇佐美 友亮氏 | 経営学部4年生

男子ゴルフ PGA 資格認定プロテストに合格

推薦趣旨

名古屋校舎ゴルフ部の宇佐美友亮選手（経営学部4年）が、8月27日から30日まで片山津ゴルフ倶楽部・白山コース（石川県）で開催された男子ゴルフ PGA 資格認定プロテストの最終プロテストに合格し、プロゴルファーの資格を得ました（本学卒業生としては3人目、在学中の合格は初めて）。今回の最終テストは、4日間72ホール・ストロークプレーで上位50位までが合格の規定でしたが、4日間の合計スコアで合格が決定。初日を1オーバー72でスタートも、2ラウンド目は3アンダー68と数字を伸ばし、3ラウンド72、4ラウンド71と手堅くまとめ、トータル1アンダーで16位に入り、見事に合格を決めました。また、大学在学中での合格・快挙を、10月16日学長に報告しました。同席された加納スポーツ支援センター長（副学長）からも「卒業後も同窓会でバックアップを続ける」等の激励をいただきました。今後は、活躍を大学からゴルフ場へ移しますが、プロとしての活躍は、大学の印象やイメージ向上にも繋がりますので、今後を応援する気持ちを含めて、宇佐美さんを推薦します。

【宇佐美選手のコメント】「まず、プロテストに1発合格できてとても嬉しいです。テスト当日は、周りの選手や全員の覇気が凄くて緊張で押し潰されそうでしたが、最後まで諦めずに自分らしいゴルフを貫こうと意識しながらプレーできたのが、合格という結果に繋がったのだと思います。これからは、プロとしてテレビの前で活躍できるように精進しますので、応援よろしくお願いします。」

〈大会結果等 URL〉

<https://pga.or.jp/tournament/protest/2024>

<https://www.aichi-u.ac.jp/news/71741> <https://www.facebook.com/AichiUniversity>



前嶋 音彩氏 | 国際コミュニケーション学部1年生

The Showstopper Final (2024年7月17日~21日 アメリカ カリフォルニア開催) 第3位 他、4年連続ダンス国際大会出場

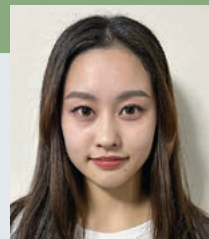
推薦趣旨 前嶋音彩さんは、カリフォルニアで開催されたダンスの国際大会である「The Showstopper Final」のDSF Brilliantsのメンバーとして出場し、38チーム中3位の成績を修めた。また、国際大会には高2、高3、加えて25年4月にも出場予定であり、毎年コンスタントに日本予選を勝ち抜き、グローバルな活躍を見せている。5歳の時にNHKで放送された「天才テレビ君」でのチアの発表視聴をきっかけにダンスを始め、早稲15年、小学5年生からは愛知県一宮市にある「DSF Brilliants」に正式に所属し、現在も同所でジャズダンスを極め、得意技は側宙（頭も手もつかず、身体を横に回す大技）である。しかし国際大会では英語も必要である。幼少期に公文を通して英語を始め、高校2年生で英検2級を取得した。将来の目標は外資系のCA（キャビンアテンダント）であり、実績のある本学の国際コミュニケーション学部英語学科を志望した。春学期は全ての単位を修得、特に英語に関係する科目は6科目中4科目がS、2科目がAと優秀な成績を修めている。まずはTOEIC700点を目指して、通学の際の資格試験勉強にも余念がない。アルバイトでは高級ホテルの配膳を週に2、3回の頻度で行っている。ダンスで培った体力、姿勢、機敏さなどを活かし、言葉遣い、接客、立振る舞いに磨きをかけて、前述のCAへの貴重な礎としている。また、課外活動ではBPMに所属、愛大ナイトに出演するなど、大学の友人とも貴重な時間を過ごしている。加えて、さくら21を通してピアサポートにも取り組み始め、留学も視野に外国人と接点を増やし、グローバル人材を目指している。国際大会での実績のみならず、キャリア形成の意識を高く持ち、愛大生活の充実度が高く、更に磨かれると考え、前嶋さんを推薦いたします。

〈大会結果は下記URL〉

「The Showstopper Final」<https://showstopperjapan.info/final/>

「The Dance Worlds 2023」<https://thedanceworlds.net/>

「DSF プリリアンス」<https://www.go-dsf.com/news/201707post-35.html>



功労賞

個人

由本 裕貴氏 | 平成17年経営学部卒(41歳)

地元新聞紙でのライター活動と東三河を材題の書籍の出版

推薦趣旨 2005年経済学部卒業後、日刊スポーツ新聞東京本社に入社し、プロ野球やサッカーなどの取材を経験し、特に当時の楽天監督だった野村克也氏には親しくしていただき、多くの野球選手とも交流をもった。2014年地元に戻り、東愛知新聞社の記者活動の後、2021年フリーに転向し「編集プロダクション ルート66」を設立し、東海日日新聞社でのライター活動とともに、東三河を中心とした地域、スポーツ、都市伝説等の執筆活動を精力的に行っている。書籍の著作活動にも力を注ぎ、東三河への郷土愛から念入りに調査をして、貴重な資料としても残したい書籍となっている。書籍「東三河と戦争」では、東三河に残る戦争の歴史や今も残る戦争の遺構を紹介している。軍都、豊橋も熱い思いで取材し、陸軍第十五師団の司令部のあった愛知大学の写真と記事が掲載されている。本書は平和を強く願っての出版となった。また、書籍「訪れたい東三河の駅」には、各鉄道沿線の駅や町の地元住民や駅利用者も知らなかった情報が紹介されている。渥美線の愛知大学前の紹介記事と写真も掲載され、利用した愛大生には懐かしき思い出のページとなっている。地元への愛着を呼び起こしてくれる書籍である。以上、愛知大学の誕生の地、また、前身の東亜同文書院の貴重な歴史を護っている豊橋キャンパスのある豊橋、そして東三河を愛する熱い気持ちで、ホットなニュースから歴史まで、情報を届けようという取材活動に、日々活躍の由本裕貴氏を推薦いたします。



岩田 涼氏 | 現代中国学部4年生

愛知大学準硬式野球部 主将

推薦趣旨 岩田選手は入学直後の1年生からレギュラーに定着、毎年東海選抜にも選出され、全国準優勝に貢献しました。また3年時には東西対抗日本一決定戦甲子園大会に東日本選抜として選出され、4打数3安打、2盗塁という結果を残し東日本選抜の優勝に貢献しました。そして4年生では愛大準硬式野球部の主将として、野球部を全日本大学準硬式野球選手権大会出場に導きました。本大会では2回戦の広島大学快勝に続き、準々決勝では東海地区で無類の強さを誇っている中京大学に接戦勝利してベスト4に進出しました。ベスト4は過去最高成績に並ぶものであり愛大準硬式野球部に輝かしい新たなページを刻むものです。これはどんなに苦しい状況でも日本一・純粋に野球を楽しむという愛大野球の基本理念を全部員に浸透させた岩田主将の根気強い働きかけと凡事徹底した練習の賜物といえます。全日本ベスト4への中心的役割を果たした岩田主将の功績を評価し奨励賞表彰の対象として推薦するものです。



西田 将氏 | 経営学部4年生

愛知大学準硬式野球部 主務

推薦趣旨 西田選手は愛大のエースとしてマウンドを守り抜き、また主務として愛大野球部や東海地区野球連盟の計画運営に携わり多大な成果を上げました。4年春のリーグ戦ではリーグ最多の投球回を数え、チーム3勝を挙げリーグ3位の戦績に貢献しました。全日本大会では3試合全ての試合に登板、将に大黒柱の働きでチームをベスト4に導きました。日々の練習では部員の個性を重視したチーム実現を目指して個別な会話やミーティングを行い、グラウンドでは率先して声を出しノックバットを手にしてチーム力の強化に努めました。個性を集結させたチーム作りの先頭に立ったのが岩田主将と西田主務であることに疑いの余地はありません。更に連盟各校の調整にも精神的に取り組み「愛大の西田」の名を高めました。西田主務が組織運営にリーダーシップを発揮できたのは、海外への語学留学やミスターコンテスト出場などのチャレンジを通して自身の持つポテンシャル高揚に注力を注ぎ見聞を広めたことも背景にあります。結果として愛知大学の名声を高めることになりました。このような西田主務の功績を評価し奨励賞表彰の対象として推薦するものです。



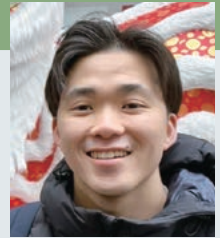
大笹 裕豊氏 | 文学部4年生

全国都道府県対抗ボウリング選手権大会での活躍

推薦趣旨 公益財団法人 JAPAN BOWLING (昭和39年5月設立、旧称：全日本ボウリング協会、会長：丹羽秀樹 衆議院議員) は、日本のボウリング界を代表する唯一の団体として、全国のボウラーを対象としたボウリング競技大会の開催事業並びにボウリング競技における公認記録の管理、表彰に関する事業を行っており、本年度に開催された3つの大会に本学文学部4年生の大笹裕豊君が出演し、優秀な成績を残しました。

- ・2024年11月24日 内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯 第53回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会 男子 選手権者決定戦 第8位
- ・同 混合2人チーム戦 (愛知 B) 第8位
- ・2025年1月19日 第53回全日本クラブ対抗ボウリング選手権大会 第3位

愛知大学の課外活動にはボウリングの競技団体がいないため、大笹君は個人で JB 会員に登録し、地域で選抜された代表選手として個人またはチーム編成により各競技大会に出演し上記の成績を残しました。これらの実績とスポーツ競技に積極的に取り組む姿勢、大学の名誉に大いに貢献したと判断し推薦する次第です。



成瀬 瑠美氏 | 経営学部4年生

UNIVAS AWARDS [サポーターングスタッフ・オブ・ザ・イヤー] 優秀賞受賞を含め、コロナを克服した4年間

推薦趣旨 成瀬瑠美さんは、24年3月に UNIVAS AWARDS [サポーターングスタッフ・オブ・ザ・イヤー] で優秀賞 (全国8名) を受賞した (受賞時は3年生、他の7名は全て4年生なので、最年少での受賞)。本学準硬式野球部 (以下、「準硬」という) は、選手33名、マネージャー7名で組織される本学を代表するクラブであり、東海大会を勝ち抜き、2023年度も全国大会でベスト16、24年度はベスト4へ進出するなど、全国大会での実績も高い。なお、現行の後援会奨励賞 (マネージャー等) では、奨励賞のみが対象であるが、全国で8名枠に選ばれたことに鑑み、同窓会用で申請させていただく。

成瀬さんは、マネージャーとして、練習中のノック、カメラ撮影、アイシングの作成、選手のピッチング、バッティングの動画撮影、大会ではスコア記入、試合結果の SNS 投稿を日々行ってきた。最もこだわるのは、選手の顔、喜怒哀楽の表情である。転機は3年生になった時だった。2つ上の先輩である近藤みりさんが第1回の実行委員長となった、甲子園大会 (全日本大学準硬式野球東西対抗日本一決定戦) の実行委員に立候補した。学生主体の大会運営、他団体との交流、キャリア支援研修などを通じ所属部員にダイバーシティを学ぶ場を提供すること、上記を通じ文武両道、社会に役立つ人材育成の場であることを対外的に発信し、部員同士の交流を深め、より強固な組織を目指した。具体的には、試合だけではなく、準硬式野球クリニック、小学生を対象とした Baseball5 体験会、キャリアガイダンス、インテグリティ研修などのプログラムを3日間 (23年11月12日~14日) かけて実施し、その準備には半年を要した。24年度も実行委員を務め、これを最後に引退した。現在は、愛知大学体育会の会計担当の重責を担うほか、ゼミにて「アメリカと比較した日本式人事」を仕上げている。卒業後は広告代理店で、持ち前の明るさ、スタミナ、根性を活かして営業を担う。顧客のニーズを的確に把握し、最適の提案を社会でも見せてくれるだろう。コロナ禍でスタートした大学生活であったが、自身の高い意識でピンチをチャンスに変えた、充実した学生生活を推薦理由に挙げたい。

〈大会結果は右記 URL〉 <https://univas.jp/find/univas-awards/>



優秀賞

団 体

為廣ゼミナール 千羽鶴 | 経営学部3年生

名古屋マーケティング・インカレ優勝

推薦趣旨 名古屋マーケティング・インカレは名古屋近隣大学のマーケティング研究を行なうゼミナールが参加する研究発表大会で、2006年から毎年開催されている。大会の目的は学生が大学を越えて交流をもち研究を深めあうことで、毎回活発な議論が行われている。2024年度は第18回大会が開催され、5大学 (愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、名城大学、名古屋学院大学) 8ゼミナールの学生 (約150名、32チーム) が参加した。為廣ゼミでは、毎年、数名のチームに分かれて名古屋マーケティング・インカレに参加しているが、2024年度はこのうちの1チームが最優秀賞 (1位) に選ばれた。このため、優秀奨励賞の対象者として推薦する。

優勝チームの概要は以下の通り。

チーム名：千羽鶴 研究テーマ：「どのようなティザー広告が効果的なのか」

メンバー：22M3033 川本 慎 (代表者)、22M3076 林 瑞緒、22M3165 平山 由梨、22M3185 山口 愛加



功労賞

団 体

愛 LAND | 愛LAND

タイ山岳少数民族の子どもたちを支援するため、ゾウのフンを使ったアップサイクル商品を企画・制作

推薦趣旨 本プロジェクトは、本来廃棄されるはずのものを新たな価値を持つ製品へと生まれ変わらせる取り組みです。タイを代表する動物「ゾウ」のフン (プー) から取り出した繊維を洗浄、薄く平らにのびし、干して作る「プーペーパー」は、化学薬品を一切使用していない環境にやさしいアップサイクル商品となります。全学生から希望者を募り、名古屋キャンパス12名、豊橋キャンパス4名、計16名が参加しました。学生たちは2024年8月にタイ・チェンマイを訪れ、本学海外提携校であるタイ・ナレスワン大学の学生とともに、「プーペーパー」の製作や、学生寮「カサロンの家」でタイ山岳少数民族の子どもたち約50人とタイ語の伝言ゲームやおにぎり作り、折り紙をする等交流を深めました。帰国後は、岐阜・美濃和紙の端材で作るアップサイクルアクセサリのマチュールームと連携して、学生がアイデアを出したピアスやブレスレット等のアクセサリーと、カサロンの家の子どもたちが描いた絵やメッセージを使った商品を作りました。商品は、名古屋市中村区の区民まつり、中京テレビ主催のイベントでの出店の他、オンラインショッピング、JICA 中部等で販売し、4ヶ月で販売利益が約15万円となりました。オンラインショッピング、ブース販売は今後も継続的に実施し、販売利益は、全額、カサロンの家へ寄付します。本プロジェクトは、建学の精神「国際的教養と視野をもった人材の育成」に基づいた取り組みであること、名古屋・豊橋キャンパスの7学部の学生が集結し、現地の学生や子どもたちと異文化交流したこと、24時間テレビ (中京テレビ) で放送されたり、愛知大学通信や愛知大学案内で紹介される一大プロジェクトであること、環境にもやさしい、ゾウのフンを使ったアップサイクル商品を作製・販売し、販売利益は全額寄付としている点、社会貢献活動、かつ学生教育活動として高く評価できるため、ここに推薦いたします。



21J1390 豊嶋 智南、21E2046 大庭 沙弥華、22E2088 近澤 美憂、24E2307 伊藤 瞳、22M3059 福田 咲百合、23M3209 後藤 彩夏、24C8103 神谷 怜那、22K2060 神谷 菜緒、22K2126 松野 綾子、24K2109 大熊 梨花、24K2126 泉屋 凜佳、24K2128 仲野 ゆず、22L4418 伊藤 朱里、24L4367 岩田 佳夏、22R5068 平野 温菜、23R5200 吉野 沙香

キャリア支援センター「愛大米」プロジェクト2024 | 参加学生

Ai-CONNEX 事業「愛大米」プロジェクト2024及び 「愛大米」プロジェクト：「陸の豊かさ」体験（SDGs 目標15）

推薦趣旨 キャリア支援センターでは「在学生×卒業生・社会をつなぐ」をコンセプトとする Ai-CONNEX (2018年度発足事業) を展開しています。今次、「名古屋市市民水田」(名古屋市主催) にて、実際に田植え体験をします。収穫されたお米は「愛大米」プロジェクトとして社会貢献活動および SDGs に資するため、中村区福祉協議会や子ども食堂、養護施設などに寄贈した。田植え体験は戸田川緑地(名古屋市港区)「名古屋市市民水田」にて実習した。参加者は本学学生(別添リスト参照) および教職員有志および卒業生ならびにその家族が参加した。これにより学生は、「名古屋市市民水田」に参加した市民および市民団体、名古屋市職員、JA 名古屋、田植ボランティアとの協働、さらに本学卒業生の有志との多世代交流(祖父・子・孫を含む)を通じて、食と農、環境問題や子育て、地域交流(ダイバーシティ)、生き物多様性問題など、SDGs に関わる様々な論点(誰一人取り残さない、生物多様性、陸の豊かさを守ろうなど)に触れ、自ら考えて行動する契機となった。この他にも、本活動をベースに学生は、Ai-CONNEX 事業が展開した「愛大米」プロジェクト：「陸の豊かさ」体験(SDGs 目標15)、ひょうたん寺子屋夏・冬(学生×中村区役所×地元振興会)、第23回 愛知大学中国公開講座での司会・受付・会場案内などにも参加するといった積極性を発揮し、他の学生をも「巻き込む力」、考動力を伸ばしており、キャリア支援センターが掲げる「生きる・学ぶ・働く」を現実の活動として実践している。社会貢献の観点から、本学学生が活動する新たな学びの場について、「愛大米」プロジェクトを一過性のイベントとするのではなく、継続的活動とするために、Ai-CONNEX 事業「愛大米」プロジェクトに参加した学生が次年度も参加し得るよう、その功労および社会のために何かをなそうとする志について、顕彰することを大いに希望し、優秀賞に該当すると判断し、ここに推薦いたします。

チームメンバー：

22C8085 吉川 留美音、22C8113 須田 楓、22C8120 濱田 蓮也、22C8147 田中 大貴、22C8169 小畠 龍弥、22M3114 矢田部 伸哉、23C8127 杉山 裕理、23C8142 杉谷 杏美、23C8143 河本 紋麗、24C8024 上條 心愛、24C8135 鶴田 絵未里、24C8162 佐藤 花音、24K1054 宇城 真央、24K1063 クサジマ ジャンポール、24M3533 浅井 彩妃、24J1019 竹内 玲央、24E2025 藤田 優作、24E2024 羽瀨 豪、24C8009 中森 舞、22E2314 太田 健介、21M3538 吉田 真季、21M3592 伊藤 みなみ、22C8048 小嶋 留嘉、22C8089 小笠原 福太郎、22C8162 境 美咲、22C8179 佐藤 琴、23C8047 林田 遼、23C8167 古川 愛花、23C8175 鈴木 琴音、23C8111 都築 快、23C8071 山田 翼



● クラブ愛知賞

団 体

豊橋日曜学校 |

地域の心身障がい児たちとふれあい、学びと遊びの場を提供する

推薦趣旨 豊橋日曜学校(TSS)は、豊橋近郊に住む心身障がいのある子ども達と一日を共に楽しく過ごすことを目的とした1973年設立の学生サークルです。愛知大学、豊橋技術科学大学、豊橋創造大学の学生が合同で活動しており、一人の子どもに一人の学生が担当として付き添い、一日を過ごします。主な活動内容として、毎月開催している学生主催の様々なイベントがあります。学生が考えたゲームや工作と一緒に遊んだり、学生と一緒にダンスを踊ったり、夏にはプールやキャンプ、秋にはクッキングやハイキングといった季節のイベントも行っています。子ども達の症状や性格は十人十色で、子どもの笑顔のために毎月学生で議論を交わします。子どもとコミュニケーションをとることは易しいことではありませんが、子どもとの触れ合いの中で新しい発見があり、社会人になるうえで多くのことを学んでいます。



最近の活動状況として、

- ・オンラインチャリティーイベント(Giving Campaign 2023, 2024)に参加。
- ・ラジオ広報「天伯之城 ギカダイ」にメンバーが出演。(2023)
- ・2023年で豊橋日曜学校の活動が50周年を迎える。
- ・国際ソロプチミスト主催の病気の方のためのケア帽子作りに参加(2023, 2024)
- ・TASUC(発達障害のある子どもに個別療育を行っている団体)と一緒に、地域の子どもたちとウォーキングをするイベントに参加。(2024)

また、以下の受賞・受章の実績があります。

- ・2015年 第2回 手をつなぐ育成会連合会 全国大会名古屋大会にて表彰
- ・2020年 緑綬褒章 受章

上記の実績、活動趣旨が「クラブ愛知賞」にふさわしいと考え、推薦します。

●同窓会資格試験合格者奨励賞

司法試験



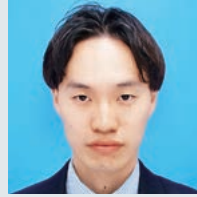
森田 葉月

2023年3月修了



太田 寧々

2024年3月修了



宇佐美 太夢

2024年9月修了



式井 悠

法科大学院未修コース3年

不動産鑑定士試験



神谷 匠海

法科大学院既修コース1年



古田 匡貴

経営学部4年

国家公務員総合職



中村 光汰

経済学部4年

税理士試験



中西 里奈

2022年3月修了

学生教育活動顕彰（後援会奨励賞、同窓会奨励賞、クラブ愛知賞）

概要

愛知大学関係者（教職員、在学生等）および愛知大学の卒業生が、社会・文化・学術・芸術・スポーツ・社会貢献などの分野において活躍し、一定以上の成果をおさめた個人および団体に対し、その栄誉を称え、一層の励みとすることを目的に顕彰する。

給付金額

（後援会奨励賞）	（同窓会奨励賞）	（クラブ愛知賞）
① 最優秀奨励賞：100,000円	① 最優秀賞：100,000円	100,000円
② 優秀奨励賞：50,000円	② 優秀賞：50,000円	
③ 奨励賞：30,000円	③ 功労賞：30,000円	

*個人には給付金額相当の記念品を贈呈する。

申請時期

1月末まで

（学術・文化の部）

- ① 最優秀奨励賞：
全国的な学術・文化活動並びに大会で特に優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
- ② 優秀奨励賞：
中部、東海地区およびそれに準じた地区大会で優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
- ③ 奨励賞：
上記以外の活動、大会で優秀と認められた個人及び団体

（スポーツの部）

出願資格

	① 最優秀奨励賞	② 優秀奨励賞	③ 奨励賞
国際・全日本大会（予選あり）	優勝、準優勝、3位	4位～8位	出場者
国際・全日本大会（予選なし）	優勝	準優勝、3位	4位～8位
中部・東海地区大会及びそれに準ずる大会		優勝	準優勝
その他の大会			優勝
マネージャー等			所属部の発展に貢献した者（卒業年次生）

（社会貢献の部）

- ① クラブ愛知賞：
愛知大学に在学する学生や学生達で構成する団体で、顕著な社会貢献活動が認められた個人及び団体

必要書類

奨励賞推薦書

決定方法

後援会奨励賞は、愛知大学の教職員で構成される選考委員会（学生部委員会または運動部長協議会）にて選考し、愛知大学教育研究支援財団に出願された書類をもとに本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。
同窓会奨励賞は、愛知大学同窓会より推薦のあった候補者を本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。

同窓会資格試験合格者奨励賞

概要

愛知大学教育研究支援財団が決めた資格試験（司法試験、公認会計士試験、弁理士試験、国家公務員総合職試験、司法書士試験、税理士試験）に合格した者に対して表彰し記念品を贈呈する。

金額

30,000円相当の記念品

出願資格

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中または卒業した者で、当該の資格試験に今年度もしくは前年度中に合格した者

必要書類

- ① 資格試験奨励賞申請書
- ② 当該の資格試験に合格したことを証明する書類（写し）
- ③ 在学証明書または卒業（修了）証明書

決定方法

出願された書類をもとに、愛知大学教育研究支援財団での審査を経て決定する。